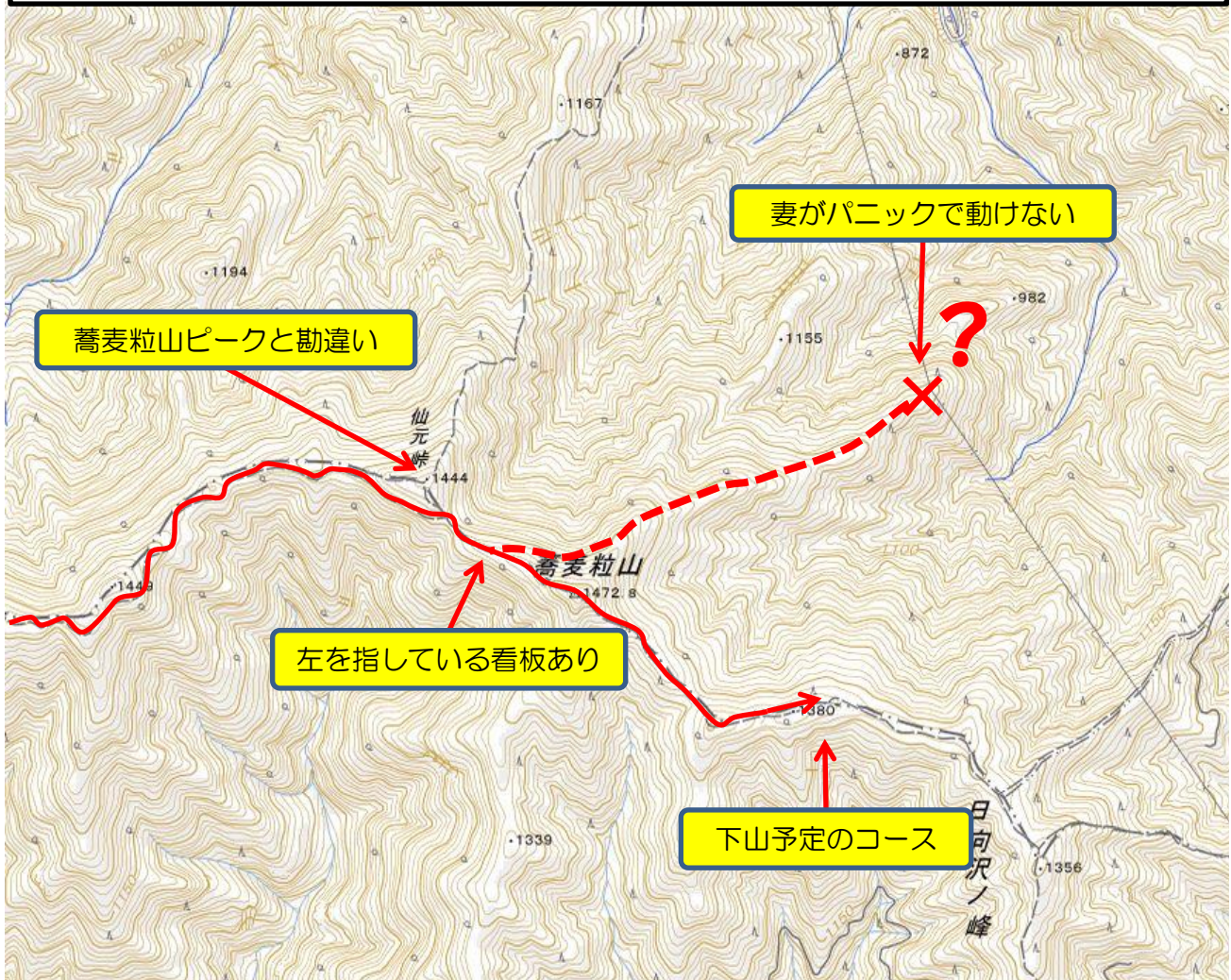


### 蕎麦粒山遭難(2015年11月)

夫婦で登山。蕎麦粒山ピークと手前の1444mピークを間違えて、「左を指している看板」を下山ルートと勘違いし進む。スマホで現在位置を確認し、誤りを核心。妻がパニックで動けないため警察に救助要請し、夜遅くに救助された。



### 解説

蕎麦粒山ピークと手前の1444mピークを間違えて、「左を指している看板」を下山ルートと勘違いし、そのまま蕎麦粒山から北東に延びている尾根を進む。途中でおかしいと思ったが、そのまま進んでしまった。送電線の鉄塔近くで電波が通じたためGoogleマップで現在位置を確認し道迷いを確信した。妻は、パニックになっていたため警察に電話をして救助要請し、夜遅くに救助され2時間かけて下山した。

この事例で学ぶことは、

- ①コースタイムは8時間30分。出発時間が遅いため、アクシデントが発生した場合に冷静さが失われてしまった。
- ②地図とコンパスを持っていなかった。
- ③登山の経験はそれなりにあり、今まで大丈夫だったので何とかできるだろうと思った。
- ④奥多摩・秩父の山をなめていた。(本人談)
- ⑤途中でおかしいと思ったが、そのまま進んでしまった。(「道迷いは行動を止めることが難しい!」どうすれば行動を止めることができるのか?一度みなさんも考えてみよう!)